



御館中通信

<教育目標>「夢」

<重点目標>「夢を持ち、その実現のために根気強く学び合い、支え合い、磨き合う生徒の育成」

郡山市立御館中学校 学校だよりNo.59 令和6年3月14日 発行責任者 校長 芳賀 実

3年生12名が巣立っていきました

春の陽光が時折差し込む中、13日（水）に本校第77回卒業証書授与式を実施しました。ご来賓の皆さま保護者の皆さまに見守られ、卒業生一人一人が堂々と卒業証書を受け取り、式は滞りなく進みました。在校生を代表して滝田さんが送辞を述べ、横田さんの感動的な答辞、そして感謝の気持ちが込められた式歌、校歌で式が無事終了しました。全員の思いがかたちになってあらわれ感動的な卒業式となりました。

卒業生の前途が希望にあふれることを願ってやみません。これまで卒業生を支えてくださいました地域の皆さま、保護者の皆さまに、改めて感謝いたします。ありがとうございました。



卒業証書授与



卒業生代表答辞



式歌3年生



最後の集合写真

東日本大震災から13年

11日（月）の5校時終了後、東日本大震災で多くの尊い命が失われたことや震災を風化させないために、全校で黙祷を捧げました。

今年1月には能登半島地震も発生し、今なお避難生活を余儀なくされている人たちが大勢いることにも心が痛みます。

福島県は未だ復興の途中ですが、次の世代を担う子どもたちが、夢と希望に満ちあふれた未来を描いていけることを心から願っています。

御館四季折々

3月に入り、南岸低気圧による湿った雪が何度か降りましたが、ようやく日差しも柔らかくなり、春が近づいてきました。校舎南側のスイセンのつぼみが膨らみ、一部で開花が始まりました。



クイズやゲームで盛り上がる ～3年生分散会～

12日（火）、卒業式の前日に3年生が分散会を行いました。担任と副担任も参加し、クイズ大会や伝言ゲームなどで盛り上がり、級友との親交を深めました。

保育所、小学校から一緒に過ごしてきたすばらしい仲間たちとの別れが、名残惜しそうでした。



御館中自慢の生徒たち

卒業式を前に校舎内の大掃除や、卒業式の式場づくり、教室の飾り付け、祝詞等の掲示を生徒たちが分担して行いました。

また、卒業式当日の朝、雪かき作業に一生懸命取り組む生徒の姿がありました。全校生が御館中の自慢です。

